

中央区 花咲く通信

2023
September
vol.09

今回の
ご案内

1 Maintenance Work :
お花のお手入れ方法

2 Flower INFO :
秋花壇のお花のご紹介

3 Chuo-ku INFO :
熱中症に注意!

Public-Citizens
partnership



日々のボランティア活動のご協力、ありがとうございます!

今年の夏は猛烈な暑さが続きました。9月に入りましたが当分は高い気温の日が続くと予報もあります。

引き続き熱中症にはくれぐれもご注意くださいながら、秋のお花を楽しんで頂ければ幸いです。

maintenance work

わきめ
脇芽が成長して
次の開花につながります

■ たくさん花を咲かせるために大切なこと：花がら摘み

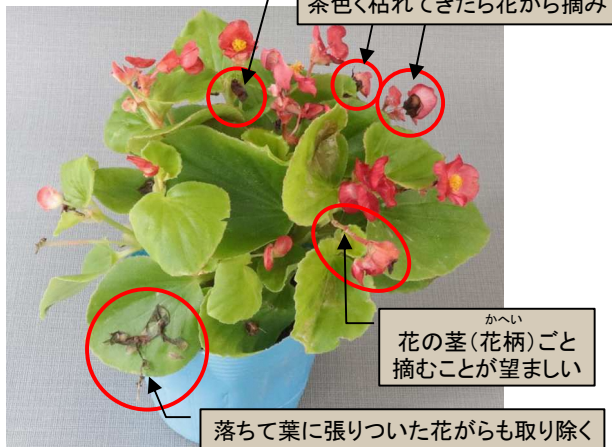
植物は花をたくさん咲かせることよりも、種をつくることを優先する性質があります。

見ごろを過ぎた花を放置すると、種が出来て次の花の咲きが悪くなってしまいます。また、枯れた花は病気の原因にもなります。それを防ぐお手入れが「花がら摘み」です。こまめに花がら摘みをすることで、植物は次々と新しい花を咲かせ、長く楽しむことができます。

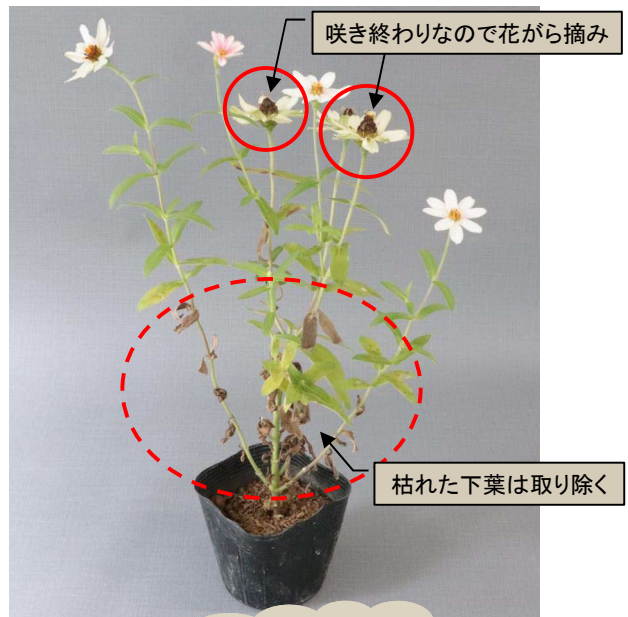
どこを摘み取ったらいいの？

▼ベゴニアの場合

ベゴニアの花はそのままでも枯れて自然に落下しますが、落ちた花が葉に張りついたりする為、花が茶色くなり始めたら、手で花柄ごと折って花がら摘みを行います。



▼ジニアの場合



ジニアの花がら摘みのポイント

- 花がらの下の脇芽の上で切る
- 丈を低くしたい場合：2番目3番目の脇芽の上で切る
- 蕾がある場合：蕾のある脇芽の上で切る

花の中心の黄色い部分(筒状花・とうじょうか)が茶色くなり始めたら花がら摘みのタイミング

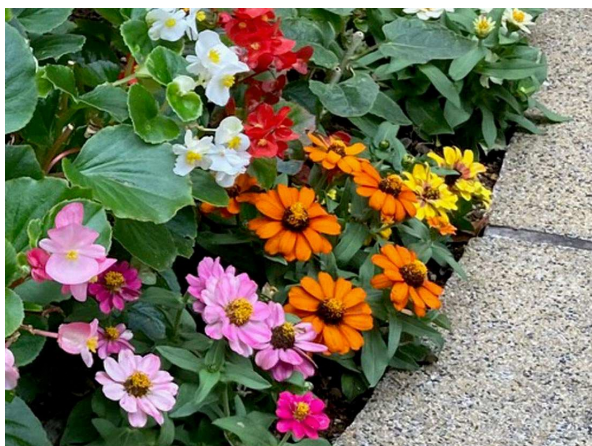


ジニアは花の中心部が黄色から茶色に変わったら花がら摘みの目安!



秋花壇のお花の紹介：「ジニア」「ペゴニア」

こまめに花がらを摘んで
たくさん花を咲かせましょう！



ジニア

キク科

Zinnia

別名：ヒャクニチソウ（百日草）

- ・丈夫で暑さに強く、名前の通り花期が長い
- ・原産地はメキシコの高原地帯、改良が進み花色豊富で一重咲き～八重咲きまで多くの品種がある

【花がら】 枯れた花は、こまめに摘み取ると次々花を咲かせます。早めの花がらつみが重要です！

花 5月～11月

光 日当たり、風通しの良い場所（ジメジメした日陰×）

土 湿気で蒸れるのが苦手なため、水はけの良い土

水 土が乾いたらたっぷりと/水のやり過ぎには注意！



ペゴニア

シュウカイドウ科ペゴニア属

Begonia semperflorens

別名：四季咲きペゴニア*

- ・ブラジル原産の植物で盛んに改良されている
- ・暖かい場所では花が咲き続ける四季咲き性*
- ・つやのある美しい葉も特徴的

【花がら】 雨や水で濡れると葉に張り付くので、乾く前に取り除くのが望ましいです。

花 5月～11月

光 日なた～半日陰

土 有機物に富んだ土、酸性土を好む

水 土が乾いたらたっぷりと！花や葉を濡らさず根元に

四季咲き性*…開花適温であれば、一年を通して繰り返し開花する性質

『熱中症にご注意ください！』

ボランティア活動の際は、日中の暑い時間帯を避けて
朝や夕方の涼しい時間帯に行うようにしてください

『夏場の水やり』

プランターは基本毎日、花壇は立地条件に応じて少なくとも週に
3回程度たっぷりとあげるようにしてください

この夏の記録的な猛暑により花壇周りのタマリユウなどの地被植物が枯れているところがあります。区では冬頃に植え替える予定です。

